

令和3年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
及び地域公共交通計画の評価結果の概要（案）

清須市地域公共交通会議
(清須市)

平成18年6月26日設置

令和2年3月23日 清須市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和2年4月～令和7年3月)

令和2年6月15日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和3年 月 日 令和2年度評価結果送付

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのルート・ダイヤの最適化に向け、市民の声・ニーズを把握し、今後検討する再編案に活かされることを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あしがるバスのルート・ダイヤの見直しに向けて、市民アンケート調査等を実施し、それにより得られた市民の声や利用者のニーズ等を把握した。 ・地域公共交通会議では、要望や対応策について、意見シートを活用しながら対応できるものか検討し、ニーズに合わせた利便性向上に向けルート改正案の協議を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更に利用しやすい交通ネットワークの構築を目指し、ダイヤ改正案の協議を進め、ルート・ダイヤの改正案を固める。
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道網を活かすとともに、周辺自治体を含めた公共交通ネットワークの形成に向け、関係者の一層の連携を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北名古屋市のコミュニティバスとの接続を可能とし、広域的な公共交通ネットワークの構築に向けて連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月のあしがるバスのルート・ダイヤ改正に合わせ、改訂する時刻表・全体ルート図のルートマップ上に北名古屋市コミュニティバスとの接続を明記する。

■ 清須市の地域特性

- 充実した鉄道網・道路網により周辺都市との連携が図られている
- 鉄道網・主要道路と庄内川、新川、五条川によって分断されている
- 市街地の道路幅が狭く、市内の移動利便性が低いという課題を抱えている

⇒ 「きよす あしがるバス」を鉄道路線のフィーダー系統として運行

- 鉄道駅までの移動手段
- 高齢者や主婦層等の移動制約者の日中の交通手段

■ 清須市地域公共交通計画（令和2年度～令和6年度）

➤ 清須市の交通将来像

誰もが移動しやすいまち清須

➤ 交通将来像の実現に向けた基本方針

- 既設の鉄道網を生かした地域公共交通ネットワークの形成
- 地域公共交通を利用しやすい環境整備の推進
- 地域公共交通事業推進のための関係者の連携



■あしがるバスのルート・ダイヤの見直しに向けて、市民アンケート調査等を実施

➤ 調査の詳細

項目	市民アンケート調査	利用者ニーズ調査
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>移動目的ごとに移動手段は何を利用しているか等の移動実態の把握</u> ・<u>今後のバスに対する運行の意向や改善してほしい点等の把握</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>バスの利用目的や行先等の利用状況</u> ・<u>ニーズの把握</u> ・<u>バスの改善してほしい点の把握</u> ・<u>バス停別乗降者数の計測</u>
対象	20歳以上の市民2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)	あしがるバス利用者 (全ルート全便×3日間)
期間	令和2年11月16日～12月7日	令和2年11月18日～20日
回収率	57.6% (配布2,000通、回収1,151通)	83.9% (配布635通、回収533通)

➤ 調査結果

- ・高齢者等の移動制約者の移動手段として地域に根付いており、高齢者の方のみでなく、その家族の方からもあしがるバスを必要とする声や今後の運行について現状維持・充実を求める意見が目立った（市民アンケート調査）
 - ・公共交通を利用しない理由として、時間がかかりすぎるという意見が多く、運行経路の短縮や利用の少ないバス停の廃止を求める要望があった（利用者ニーズ調査）
- ⇒**現状のルート・ダイヤを維持しつつも、利用の少ないバス停や時間ロスが発生している経路を見直すなど、利用ニーズを反映した再編案になるよう協議を進めた**

■コミュニティバスのルート・ダイヤ改正に向けた協議

➤ 令和3年度第1回地域公共交通会議

- 前回の改正以降に受けた要望や市民アンケート調査等の結果をもとに、**課題や対応策について整理し、改正の方向性を協議した**
- オレンジルートの市役所付近の経路変更やグリーンルートの増車する案など、具体的な対応策について提示し、会議後、**意見シートを記入してもらい、各委員の意見を収集した**



➤ 令和3年度地域公共交通会議専門部会（市民委員のみで構成される会議）

- 意見シートを踏まえ、現在の利用実態やコロナ禍における利用状況を鑑みて、市役所付近の経路変更や増車する案などは見送る
- 運行経路を短縮するため**清洲城付近の経路見直し**したり、以前から要望があった清洲総合福祉センターへのアクセス利便性の向上に向けて**当該福祉センターへサクラルートを経由することにより、利用者のニーズに応えられるよう作成したルート改正素案**について協議した



■周辺自治体を含めた公共交通ネットワークの形成に係る取組

・令和3年7月26日

北名古屋市コミュニティバスのルート・ダイヤ改正により
「はるひ呼吸器病院」バス停において当該バスとの接続が可能になった



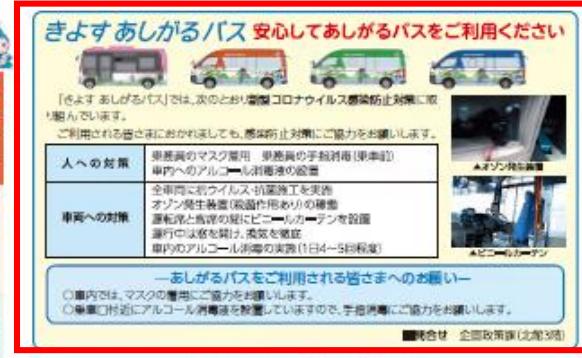
■新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組み

- ・全車両に抗ウイルス・抗菌施工
- ・市ホームページ、広報及びバスロケーションシステム等で周知
- ・感染防止ステッカーの作成し、全バス車内とバス停に貼付

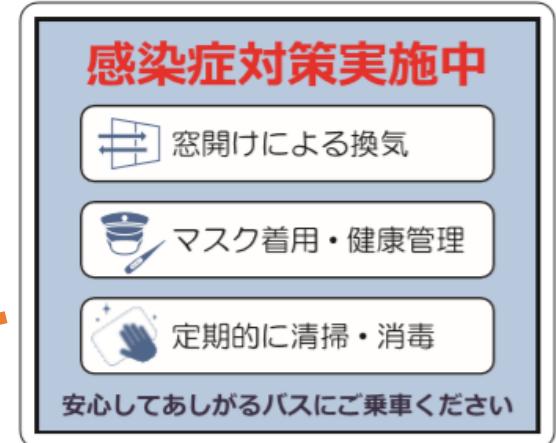
(前年度から実施)

- ・乗務員のマスク着用
- ・乗務員の手指消毒（乗車前）
- ・車内のアルコール消毒の実施（4～5回／日）
- ・車内へのアルコール消毒液の設置
- ・運転席と客席の間にビニールカーテンを設置
- ・オゾン発生装置（殺菌作用あり）の稼働
- ・運行中は窓を一部開け、換気を徹底
- ・感染予防ポスターの車内掲示

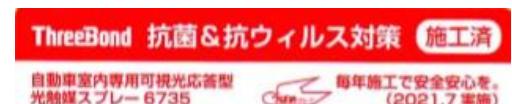
新型コロナウイルス感染症関連情報
市役所☎052-400-2911
2021.1.1現在



申込要件		基準人数	登録料
令和3年春分・秋分・冬至・立春・立夏・立秋・立冬・誕生日	1月1日(月)	免费登録料(月額300円)	
市民券・市民大会	1月17日(日)	生徒登録料(月額100円)	
定期券販賣会	2月28日(土)	生徒登録料(月額100円)	
新型コロナウイルス感染症対策労働支拂対策事業として会計年度任用職員を募集しています			
申用要件		基準人数	
令和3年3月31日まで	勤務地	5名	
(賃年度の任用は原則)	勤務場所	市役所内の各課	
雇用内規			
市役所における雇用内規(10月1日改正)を遵守する	勤務時間	午前8時30分～午後5時(休憩60分)	
勤務時間外に勤務する場合は、当時の表面にて会計年度任用職員必須と朱書きしてください。	勤務時間外に勤務する場合は、当時の表面にて会計年度任用職員必須と朱書きしてください。		
就業規則			
就業規則は原則通りである	就業規則	交通費支拂、社会保険加入あり	
応募方法等			
以下の書類を郵送又は持参	①履歴書(任意提出式)	②申込要件を証する書類(市役所内定取消し通知や履歴系等)のなし	③申立書
郵送先: 市役所企画課人事課総務課出向課(3階) TEL: 052-563 6806 駅前本館1F 23番地			



▲感染防止ステッカー
(全バス車内・一部バス停に貼付)



▲抗ウイルス・抗菌施工済み
ステッカー
(全バス車内に貼付)

4.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

自己評価実施日：令和3年12月20日（月）[令和3年度第2回清須市地域公共交通会議]

■収支率（地域公共交通計画策定時の目標収支率を維持するよう設定）

目標値	実績値	達成状況
8.9%	7.6%	未達成

■利用者数（過去増加率を元に設定）

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	前々年比	達成状況
全 体	年 間	89,300人	68,737人	96.3%	85.6%	未達成
	1便あたり	5.7人	4.4人			未達成

- 前年度の実績を上回る利用者数まで回復するに至っていない要因として、コロナ禍における外出自粛や地域公共交通の利用控えにより、コロナ禍以前の利用者が戻りきっていないことが考えられる

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	前々年比	達成状況
オレンジ	年 間	17,000人	12,589人	94.3%	86.0%	未達成
	1便あたり	4.3人	3.2人			未達成

- 市役所や新川福祉センターの利用が増加している一方で、鉄道駅やスポーツ複合施設は依然として利用を控える方が多く、キリンビアパークも工場見学の中止が続いていることから、前々年比が8.6%に留まっていると推察する

4.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	前々年比	達成状況
グリーン	年 間	26,500人	22,568人	98.3%	93.3%	未達成
	1便あたり	6.7人	5.7人			未達成

- 複数の商業施設、鉄道駅のほか、市内入浴施設があり、利用目的が多様で利便性が高く、コロナ禍においても利用が増えているバス停があるため、他のルートに比べ前々年比が高くなっていると考えられる

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	前々年比	達成状況
サクラ	年 間	28,800人	21,221人	98.3%	81.5%	未達成
	1便あたり	7.3人	5.4人			未達成

- 新型コロナウイルスワクチンの個別接種に伴い、接種会場となっている病院のバス停は利用者数が一時的に大きく増加したが、コロナ禍前には多くの利用があった美術館や図書館、スポーツ複合施設などは未だ利用を控える方が多く、大きな影響を受けている

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	前々年比	達成状況
ブルー	年 間	17,000人	12,359人	91.9%	79.7%	未達成
	1便あたり	4.3人	3.1人			未達成

- サクラルート同様、ワクチン接種に伴い接種会場への移動需要が高まり、一部の病院等で利用者数が増加したが、利用者の半数以上を占める清洲駅とヨシヅヤの利用者が戻らず、依然として日常の買物や電車を利用して外出する際にバスの利用を控えている方が一定数いると考えられる

■自己評価から得られた課題

- ・コロナ禍において外出頻度の減少や公共交通機関を控える傾向があり、**全体の利用者数は戻りきっていない**

⇒利用促進活動を実施するとともに、ルート・ダイヤを見直し、より利用しやすい交通ネットワークを構築する必要がある

■対応方針

①あしがるバスの利用者数回復に向け、啓発活動の実施と感染防止対策の周知継続

- ・感染防止対策を講じてイベントを開催するなど、**昨年度に実施できなかつた利用促進に繋がる啓発活動の実施を目指し**、その活動を通して、あしがるバスの新規利用者獲得や以前の利用者の呼び戻しを図る
- ・広報清須、市ホームページ、バスロケーションシステムのお知らせ欄等に加え、上記の啓発活動において、現在行っている感染防止対策を周知し、**より多くの方にあしがるバスの安全性を知っていただく**



②あしがるバスのルート・ダイヤの見直しに向けて協議を重ね、改正案を決定する

- ・協議中のルート改正案に加え、各ルートとの乗継利便性やパターンダイヤを維持しながら、要望があった買物時間の確保等を検討して作成したダイヤ改正案について協議し、令和3年度第3回地域公共交通会議（令和4年3月開催予定）で改正案を決定